すまいる

Vol.26 冬号

院長通信 ～インフルエンザについて～

今年は、10 月初旬よりインフルエンザが流行しています。
沖縄や九州、神奈川や東京などで流行宣言が出され、大阪でも複数の学級閉鎖が出ています。
日本でラグビーW 杯が開催されており、旅行客が増えているからとも言われていますが、
例年より随分流行が早いことは間違いなさそうです。

当院では、10 月よりインフルエンザワクチンの接種を開始しました。
毎年受けている方はもちろん、65 歳以上の方、受験や就職、旅行などをひかえている方も
接種をお勧めします。ワクチン接種で「完全に発病を予防できる」とは言えませんが、
症状を軽くしたり、肺炎や脳症など重症化を防ぐ効果は充分期待できます。

当院では、インフルエンザワクチンの予約・取り置きはしておりません。
無くなり次第終了となりますので、早めの接種をお勧めします。

※ワクチンの供給量から推定して、11 月後半には在庫切れとなる予定です。

※中学生以上は 1 回、小学生以下は 2 回接種が標準です。

年末年始休診のお知らせ

12/28(土)～1/5(日)

は**休診**です。

1/6(月)

から**平常通りの診察**です。

内科・小児科・胃腸内科・肛門外科

(医)喜多岡医院

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:30	●	●	／	●	●	●	／
16:00～18:30	●	●	／	●	●	／	／

※受付は診療開始30分前からです

大阪市天王寺区大道3-1-23EMAビル201 TEL06-6771-8025

スタッフ通信

こんにちは！
8 月から入職した小島です！
よろしくお願い致します。
朝と夜は涼しくなり、
秋を感じる機会も増えてきました。
皆さんは秋と言えば何ですか？
私は紅葉の秋です。食欲の秋、読書の秋、
スポーツの秋…いろんな秋がありますね。
だんだんと寒くなり、
体調を崩しやすい時期ですので、
お気をつけください！

ナース　小島

胃腸のお話 ～逆流性食道炎について～

昔は、「胃酸過多」にはパンシロン・大正胃腸薬と言われていましたが、胃酸(強い酸性の胃液)が食道に逆流し食道粘膜がただれて不快な症状を来す「逆流性食道炎」が急増しています。

原因として、食べ過ぎ・飲み過ぎ以外に、脂っこい食事・就寝前の食事・肥満による内臓の圧迫・ピロリ除菌による胃酸分泌量の増加など、もはや現代病といってもいいのかも知れません。

主な自覚症状は胸やけ・ゲップ・お腹の痛みですが、他にも喉のイガイガ・声枯れ・胸の痛み・物が詰まった感じなど、食道以外の病気と思うような症状が出ることもあります。

生活習慣の改善で良くならない場合は、プロトンポンプ阻害剤というお薬がよく効き、4種類の中から病状に合わせて処方します。

長期間放置すると、「バレット食道がん」という悪性腫瘍ができることもありますので、症状がある方はお気軽に当院にご相談ください。

あなたの健康のために ～帯状疱疹について～

体の片方に小さな水ぶくれが沢山できて、2～3週間かゆくて痛い病気、これが「帯状疱疹(たいじょうほうしん)」です。子どもの頃にかかった水疱瘡(みずぼうそう)のウイルスが、何十年も経過して再び暴れ出すことが原因です。背骨の神経が左右に分かれた後の根部に潜んでいたウイルスが暴れるので、必ず体のどちらか半分に症状が出ます。体の真ん中を超えて両側にできることはありません。ピリピリ・ザクザク・ジンジンと神経痛特有の嫌な痛みがあり、夜もよく眠れないため、うつ病になる人もいるほどです。頭・顔・首・身体・手足どこにでも発病し、何度もかかる可能性があります。特に50歳以上に多く、疲れ・ストレスが溜まっている、睡眠不足、抗がん剤治療中だとなりやすいようです。もちろん治療薬はありますが、どのくらい効くかは個人差があり、予想できません。

しかし数年前、子どもに接種している水疱瘡(みずぼうそう)ワクチンが帯状疱疹(たいじょうほうしん)の予防に有効であることがわかりました。50歳以上の方は接種をお勧めします。ちなみに院長も9月にワクチンを接種しました。接種は自費になりますが、接種後5年間は効果があります。当院で接種可能ですのでお問い合わせください。